

アソカ講話080

テーマ「良書から学ぶ ⑧ 何のために学ぶのか」

小さな人生論第4巻4章から、何のために学ぶのかについての言葉を紹介したい。

「人は自分を創るために学ぶのだ。そして、人生のあらゆる艱難辛苦にあっても動じないように、自分を修めていく。自分を創るのは利己のためではない。世のため、人のために自分を役立てるためである。自分を役立てるには、自己の徳を大成し、自己の才能・能力を練磨、向上させていかねばならない。それが学の本質である。成徳達材することによって、より良き運命を創っていくのだ」・・安岡正篤師の言葉として紹介している。

何のために学ぶのか、分かりやすい教えである。人生の目的もまた、同じ。自分に与えられた環境を活かしきり、自分を創ること、そして、誰かのために生きることである。

学ぶことなくして、実現することはできない。介護の専門性、介護職としての人間性を高める学びは、即自分を高めることであり、ご利用者の生活の質を高めることでもある。表現を変えれば、ご利用者を幸せにすることである。私達は、学ぶことを通して、自らを幸せにし、同時に他者を幸せにできるのである。学びましょう。